2026 三原小 学力向上プラン

教育目標

「誇りをもち，主体的で，自律できる子どもの育成」
～安全・安心を大切にする三原っ子～

学力向上のための取組～確かな学力（真剣）の育成～

●「主体的・対話的で深い学びの実現」　●本校独自の「学びのスタイル」の確立
●単元を見通した授業づくり（全教科）　●家庭学習等における自己調整力の育成
●「学習の約束・心構え」「家庭学習の手引き」の確認と活用　●ICT活用　●家庭読書の習慣化

児童の実態を受けた具体的な取り組み

・対話を取り入れた学びの基本となる「学習の約束」の指導徹底（話すこと・聞くこと）
・ＩＣＴ活用による個別の課題の提示（家庭との連携→ＡＩドリルの活用）
・授業の中で、「自己決定をする。」「自分を見つめるための振り返りをさせる。」「次時の学習に目を向けさせる。」といった場面を設けることで、子どもが自ら学びを進めていく力と態度を身に付けさせていく。
・「自分の考えをもつ」ときと「振り返り」のときには、書く活動を大切にする。
・家庭学習の取組を充実させる。年間を通じて，家庭学習等でも振り返りを行い，自己調整力の育成（内容，量，予習，復習，発展，等）を図る。

国語	算数
・自分の思いや考えを「書く」活動の充実。（毎時間の振り返り・日記など） ・漢字を「書く」ことの習熟。 ・教科書「たいせつ」を生かした，単元を通して身に付けたい力の明確化。	・基本的な計算力の向上のための，練習時間を確保する。 ・めあてに対する見通しをもつことで，既習事項の活用を意識させる。 ・ＩＣＴの活用により，学習過程の中に各々の考えを共有する時間を設ける。様々な問題解決の方法に触れることで深い理解につなげていく。

全校に共通する実態

＜国語＞	＜算数＞
・　学習への意欲は高く学習や問題に粘り強く取り組もうとする姿勢は見られるが、最後まで聞くことが苦手で相手の意図を理解して、学習に生かすことに課題がある。 ・　漢字の読みは得意であるが、書きに課題がある。 ・　自分の考えを明確に伝えられるよう話したり、条件に合わせて文章を書いたりすることが苦手である。	・　国語同様、意欲をもって学習に取り組もうとする姿勢が見られるが、全体的に基礎的な学力の定着に問題がある。 ・　一つ一つの単元の理解はできているが、複合的な問題が苦手である。 ・　問題で聞かれていることの意味を読み取るのが苦手である。

＜共通して＞
・与えられた課題に一生懸命に取り組むことはできるが、自分の良さや課題をつかみ、「学び方」を考えて、自ら学びを進めていくことがまだ十分とは言えない。